

耳鼻咽喉科健康診断結果のお知らせ

(第3版 平成29年4月改定)

保護者様

年 月 日

年 組 番 氏名

学校名:

校長名:

定期健康診断の結果、下記の疾患を疑う所見がありましたのでお知らせします。

耳鼻咽喉科医の診察を受け、【耳鼻咽喉科での診察結果】にサインをもらい、学校に提出してください。

(注) 指摘された疾患について、すでに診察を受け治療や病状の説明を受けている場合は受診は不要です。

その場合は【ご家庭での確認】の欄に保護者がサインをして、学校に提出してください。

所見あり	所見名	内容と説明
	耳垢栓塞 (耳あか)	鼓膜が見えない程度にたまっています。鼓膜が見えないため、中耳炎などの病気が隠れていることもあります。
	滲出性中耳炎	鼓膜の内側(鼓室)に水がたまって、聞こえが悪くなる病気です。痛みがないので本人が気付かないうちに進行します。日常会話や学校生活に差し支えることがあります。
	慢性中耳炎	炎症を繰り返し、鼓膜に穴(穿孔)があいています。耳だれが続いたり、聞こえが悪くなったりします。放置すると難聴が進行するおそれもあります。
	難聴の疑い	学校での聞こえの検査で、はっきり聞き取れないところ(○印)がありました。 [右耳] 1000Hz/30dB ・ 4000Hz/25dB [左耳] 1000Hz/30dB ・ 4000Hz/25dB
	アレルギー性鼻炎	原因となる物質(アレルゲン)を吸入すると発症する病気で、くしゃみ・鼻水・鼻づまりの3症状を訴えます。慢性的な鼻づまりは集中力の低下など学校生活にも影響し、しばしば鼻出血の原因にもなります。アレルゲンにはホコリ・ダニ・花粉などがあります。
	副鼻腔炎	慢性的に粘性・膿性鼻汁があり、鼻づまりや嗅覚障害・鼻出血・頭痛・痰がらみの咳など、いろいろな症状の原因となります。
	慢性鼻炎	慢性的な鼻づまりや鼻汁過多があり集中力の低下など学校生活に影響を及ぼすと思われます。学校の健康診断だけでは花粉症などのアレルギー性鼻炎や副鼻腔炎と診断できないものも含まれます。治療が必要な場合もあります。
	鼻中隔わん曲症	鼻の左右の空間を仕切る壁(鼻中隔)が強く曲がっているため、鼻づまりや鼻出血の原因となることがあります。
	アデノイド増殖症 の疑い	アデノイドは鼻の一番奥にある扁桃組織で、増殖症では口を開けて呼吸をしていたり、「いびき」などの睡眠時呼吸障害、中耳炎や副鼻腔炎を起こしやすくなったりします。
	扁桃肥大	扁桃がはれています。大きくても心配のないものもありますが、呼吸や嚥下の障害(飲み込みにくい)を来す場合があります。
	扁桃炎	かぜをひきやすく、のどを痛めやすい原因となります。繰り返し高い熱を出す習慣性扁桃炎や関節・腎臓・心臓の病気の原因になる病巣感染源となることがあります。
	音声異常	長期にわたる声がれや鼻声などの異常があります。小学校高学年以上になると「声変わり」がうまくできないことも原因となります。
	言語異常	話し言葉に異常があります。程度によっては専門機関での治療が必要になります。
	その他()	唇裂・口蓋裂、唾液腺・甲状腺等の頭頸部疾患、腫瘍 等

【耳鼻咽喉科での診察結果】

診断名 :

治療経過 : 経過観察 ・ 治療開始 ・ 現在治療中 ・ 治療終了 ・ その他()

水泳・その他の指示事項 : 無 ・ 有()

年 月 日 医療機関・医師名 : (印)

【ご家庭での確認】

診断名 : を確認しました。

すでに耳鼻咽喉科医の診察を受け、治療や病状の説明をされています。

<指示を受けている注意点・生活制限(水泳の禁止等)>()

年 月 日 保護者氏名 : (印)